

読書のまち・かわさき通信No.78



2017年10月発行
川崎市教育委員会事務局

第15回 かわさき読書の日のつどい

申込不要・入場無料

～親子で参加しませんか～

日時：平成29年11月5日（日）
13:30～16:30（受付 13:00～）
会場：中原市民館（最寄り駅：武蔵小杉駅）

かわさき読書週間

10月29日～11月11日

<主なプログラム>

- ☆ 入賞作品展示（標語・ポスター・本の紹介文）
- ☆ 読書活動表彰式（個人・団体・学校）
- ☆ 講演と作家先生との交流会
講演 石井 睦美 氏
演題「本はともだち」

小学校2年生の国語の教科書に掲載されている「すみれちゃんシリーズ」でも、子どもたちに大変親しまれています。

毎年10月末から11月はじめの2週間を「かわさき読書週間」と位置づけています。期間中の11月の第1日曜日には、「かわさき読書の日のつどい」を開催しており、今年は11月5日（日）に中原市民館で行われます。

「かわさき読書の日のつどい」では、市内の児童生徒から寄せられた読書活動に関する「読書標語」「読書ポスター」「本の紹介文」などの優秀作品、及び読書活動作品づくりに意欲的に取り組んだ学校に贈る学校賞の表彰を行います。また、長年にわたり図書館・学校・地域で子どもの読書を推進する活動に取り組んできた優秀団体を表彰します。

講演会では、小学校2年生の国語の教科書で教材になっている「すみれちゃんシリーズ」など、多くの作品を出版されている石井睦美先生をお迎えして、『本はともだち』というテーマで講演をいただくとともに、石井先生と児童との交流会を予定しています。

親子でも、お一人でも、ぜひご来場ください！



昨年度の様子

★昨年度 来場された方の感想より★

- ・貴重な話を聴けて、有意義な一日でした。また、子どもたちの感想文も新鮮でした。
- ・このような“つどい”があるのをはじめて知りました。読書離れが寂しいこの頃ですが、1冊の本による影響は大きいものがあります。益々のご啓発を祈ります。

川崎フロンターレと本を読もう！

キックオフ！「読書のまち かわさき」

「読書のまち・かわさき」事業の一つとして、今年度も川崎フロンターレと協働し、読書推奨キャンペーン事業「川崎フロンターレと本を読もう！」を実施しています。例年行われている「人形劇団ひとみ座&川崎フロンターレによる人形劇と、フロンターレコーチ(元プロ選手)による読み聞かせ」を、いくつかの小学校で行っています。

川崎フロンターレのコーチが来校し、ひとみ座が演じる「ふろん太」くんや、「ワルンタ」くんと共に、本への関心を高める劇を演じました。また、大きな絵本をひざに置き、子どもたちのために読み聞かせも行っています。

ある小学校では、読み聞かせ後に子どもたちからたくさんの読書やサッカーに関する質問が飛び出しましたが、コーチは丁寧に答えてくださり、最後は全員ハイタッチで退場しました。どの子どもも笑顔で楽しそうに劇を見たり、お話を聞いたりしていました。こうした取組を通して、今後も読書好きの子どもが増えることを願っています。



平成 29 年度 全市図書ボランティア研修会

この研修会は、学校図書ボランティアの方が対象ですが、読書に興味・関心のある市民の方々への参加、学校図書ボランティアに関心のある方の参加も大歓迎です。

第1回は7月4日(火)に中原市民館にて実施されました。小学校国語教科書の「スーホの白い馬」の挿絵でも有名な赤羽末吉氏に関する資料の整理や研究をされている赤羽茂乃先生をお迎えし、この絵本の話に加えて、赤羽末吉氏の人生と絵本との関わり、絵本作りにまつわるお話などを聞かせていただきました。



第2回研修会は下記のとおり実施予定です。今回は、真鍋 真先生をお迎えしてご講演いただきます。真鍋先生は、イギリス・ブリストル大学理学部地質学科で博士号を取得され、現在は国立科学博物館にて標本資料センター・センター長を務めていらっしゃいます。恐竜や古生物の図鑑や書籍を多数監修されています。

皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

平成 29 年度 第2回 全市図書ボランティア研修会のご案内

- ◆ 日時：2018年1月16日(火) 9:50~11:20〔受付開始 9:30~〕
- ◆ 会場：中原市民館 多目的ホール〔パークシティ武蔵小杉 ミッドスカイタワー2F〕
- ◆ 講師：真鍋 真 氏

☆ 一般の方は申込不要・参加自由ですが、図書ボランティア等学校関係の方は12月頃に学校に案内を配布いたしますので、その後に学校を通してお申し込みください。

〔問い合わせ〕教育委員会事務局「読書のまち・かわさき」事業担当 電話200-3243